

Throw Back1990s

高橋 知優



1. 作品のコンセプト（制作意図）

90年代に流行したファッションブランド オーヤ：#OHYA の表現を再解釈し、平面から立体になる動きのある形をボーンや針金を使わずに、当時の裏原宿のストリートファッションのデニムパンツのディテールを残しつつ動きのある立体感のあるデザインに落とし込みました。

トップスはその当時流行したボーダーニットに見える様にプリーツ加工をしたカットソーを製作しました。

パンツの立体的な形はハリのある良質な14oz のデニムとステッチのみで表現しています。

2. デザインソース（基本発想）

トップスのデザインソースは、その当時流行したボーダーニットからの着想に基づいています。

一方、パンツの立体的なデザインについては、アコーディオンの折り重なる動きと、OHYAの表現からインスパイアされました。

このように、トップスとパンツのデザインにおいて、過去のトレンドや抽象的な要素からインスピレーションを得て、新しいファッションアイテムを実現しました。

IFD2023-BF-11

3. デザインの特徴はどこか

デニムパンツにおいて、最も特筆すべき特徴は円を重ね合わせて作成された点です。

このアイデアを実現するためには縫製において多くの苦勞が伴いましたが、結果満足のいくユニークなデニムパンツができました。

一方、ニット風トップスは、ダメージや他の表現にこだわったデザインが特徴となっています。

4. 製作に使用した材料

デニム14oz（オンス）：綿100%

このデニム生地は14オンスの重さ、綿100%のものを使用しました。こちらの生地で円形のパターンを重ね合わせパンツを製作しました。

5. 技法・技術など

パンツは円を重ね合わせるというデザインが、縫製において高度な技術と忍耐が必要で、とても大変でした。

トップスは動きのあるテキスタイル製作を目標として、ダメージを施されたニットを布帛へプリントするというも行いました。

ダメージを持つニット生地の特徴を活かし、柄やデザインを布帛に転写するために用いました。

さらに、柄に合わせるようにプリーツ加工も施しました。

